

第10回長野県U-11サッカー選手権大会（チビリンピック長野県予選）

大会要項

1. 名称 第10回長野県U-11サッカー選手権大会（兼チビリンピック長野県予選大会）
2. 主催 一般社団法人長野県サッカー協会
3. 主管 一般社団法人長野県サッカー協会4種委員会
4. 日程 2024年10月13日（日）・14日（月祝） 予選リーグ 筑北村サッカー場・千曲市サッカー場
11月9日（日） 準々決勝 あがた運動公園多目的広場
11月23日（土） 準決勝 サンプロアルウィン
11月24日（日） 3位決定戦／決勝 サンプロアルウィン
5. 参加資格 2024年度（公財）日本サッカー協会第4種に登録されたチームで、選手は2024年度選手証を有する、2024年4月1日現在小学校5年生以下であること。審判員2名（内1名は3級以上）を大会期間中帯同できること。県代表2チームに選ばれた場合、北信越大会（2025年3月福井県開催）に原則として出場できること。
※北信越大会からは16人～18人登録の3ピリオド制となるため、出場権を付与されたチームが参加を辞退した場合には、次点（3位より順番）のチームに出場権が付与される。
（附則）
クラブから複数チームのエントリーを可とする。ただしチーム名は日本サッカー協会登録チーム名の後ろにA、B…を付けるに留めること。
6. チーム構成 引率指導者3名以内、選手16名以下とする。
7. 組み合わせ （一社）長野県サッカー協会4種委員会による責任抽選とする。
8. 試合方法 予選リーグ＋トーナメント方式
○予選リーグ
前後半15分ハーフの30分ゲームとし、インターバルは5分とする。
同点の場合はPK戦（ペナルティーシュートアウト）方式（3名）を行う。
順位の決定方法は、
①勝ち点（勝ち3・PK勝ち2・PK負け1・負け0）②得失点差③総得点④当該チームの勝敗
⑤PK戦（ペナルティーシュートアウト）方式（3名）
○決勝トーナメント
前後半20分ハーフの40分ゲームとし、インターバルは7分とする。
勝敗が決しない場合はPK戦（ペナルティーシュートアウト）方式（3名）により次戦への進出チームを決定する。
準決勝、3位決定戦、決勝は10分間の延長戦（前・後半各5分）を行い、なお決しない場合はPK戦（ペナルティーシュートアウト）方式により勝利チームを決定する。
9. 競技規則 2024/2025競技規則および8人制サッカー競技規則によるが、次を別に定める。
（1）試合時間
試合時間は上記に定める方式にて行う。PK戦（ペナルティーシュートアウト）方式に入る前のインターバルは原則1分間、延長戦に入る前のインターバルは原則5分間とする。
（2）試合球
4号公認球を使用する。（各チーム持参）

(3)競技者の数

- ① 常に8人（内1名はゴールキーパー）で競技する。
- ② 試合開始時8人に満たない場合は試合を開始しない。
- ③ 競技者が退場処分を受けた場合、ケガ等の治療で一時的にフィールドを離れる場合も競技者を補充し常に8人としなければならない。
- ④ 試合中にケガ等による人数不足で8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。但し、いずれかのチームが6人未満となった場合、試合は中止される。

(4)競技者の交代

- ① 自由な交代制とする。交代要員を8名まで登録し、8名まで交代できる。
- ② 一度退いた競技者は交代要員となり再び出場でき、何度でも交代することができる。

【交代の手続き】

- ・交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールド外に出る。
- ・交代要員は、交代ゾーン からフィールドに入り競技者となる。
- ・交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。但し、ゴールキーパーの交代のみアウトオブプレー中に主審の承認を得て行い、退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点から出なければならない。
- ・ゴールキーパーの交代以外、交代について主審の承認を得る必要はない。但し、交代する直前に第4審から用具のチェックを受けることとする。

(5)ベンチ

ベンチに入ることのできる人数は、選手16名、チーム役員3名を最大とする。

(6)ユニフォーム

- ① （公財）日本サッカー協会ユニフォーム規定に適合した異色のもの2着（同系色2着は不可）を登録し、試合に際しそれを着用する。
- ② 審判が通常着用する黒色と同一または類似した色のシャツを用いることはできない。ゴールキーパーについても同様である。
- ③ アンダーシャツ、アンダーショーツまたはタイツの色は問わない。但し、チーム内で同色のものを着用すること。シャツ、ショーツと異色のものを着用した場合、相手チームのユニフォームの色によっては、代表者ミーティングのユニフォーム決定の際、主審によって認められない場合もある。
- ④ ソックスの上にテープを巻く場合も、その色は問わない。
- ⑤ 選手の用具（キャプテンアームバンド）について、フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。

(7)審判

<予選リーグ>

- ① チーム帯同制により、2人制(主審と予備審)を採用する。
- ② 主審と補助審は、3級以上の審判員とする。

<準々決勝・準決勝・3位決定戦・決勝>

- ① 大会本部スタッフまたは審判委員会からの派遣審判員で行い、4人制（主審・副審・第4審）を採用する。
- ② 主審は3級以上の審判員とし、副審および第4審は4級以上の審判員とする。

(8)その他

- ① 登録選手の変更は、チームの最初の試合60分前まで認める。
- ② キックオフ60分前に代表者ミーティングを行い、審判団により試合に用いるユニフォームを決定する。その際持参するユニフォームは現物または写真（A4用紙にF P正副、G K正副の前面、背面からの全身写真を1セットずつ印刷された計4枚）とする。電子機器による表示は不可。

10. 警告・退場

- (1)本大会期間中に警告を2回受けた選手等は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (2)本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (3)本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

11. その他

- 各試合、カード選手証または電子選手証の携行を義務付ける。選手証を携行しない場合、試合に出場することは出来ない。